



碧南ロータリークラブ週報

第2210回例会 平成16年2月4日(水) 晴.最高7.6℃.最低0.3℃

- 会長 加藤 良邦 ●幹事 竹中 義雄 ●SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度
国際ロータリーのテーマ

手を貸そう



Lend a Hand

● 齊唱

国家 君が代
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

津島 R C 地区青少年交換委員会 委員	鈴木吉男氏
一色 R C	小池 孝君
一色 R C	篠田義隆君
西尾 KIRARAR R C	中野正行君



池田弘孝会長エレクト 鈴木吉男氏

● 新入会員入会式

那波宏志君

副会長挨拶



那波宏志君

本年も2月に入りまして早一月が経った訳でございます。季節も今日ニュースでやっておりましたけれども、岡崎城の松の薦取りが始まったと言うことで、虫除けと言いますか、虫を捕まえる薦が取られるそうでございます。みなさんもご案内のとおり、南の庭では梅が咲き始めて、いよいよ春本番が近づくかなと思います。しかし季節の動きはそうですが、毎日はまだまだ寒い日が続きます。お風邪を召されぬようにお気をつけになって、例会出席を是非お願いしたいと思います。以上簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。

● 第3回米山功労者 マルチプル表彰者



三嶋正副会長 服部和彦君



三嶋正君 竹中義雄幹事



石川春久君 三嶋正副会長

幹事報告

他クラブの例会変更につきましてはお手元の資料の通りでございます。

本日例会終了後、定例の理事会を3階の306号室で開催させて頂きます。その内で45周年の実行委員会も併せて開催させていただきます。

次週は、法定休日で休会となりますのでお間違いないようにお願いします。

45週年の3月21日まで四十数日ありますが、実際数えてみると、例会からいきますと、後3週しかございません。3月10日がリハーサルということ、3月17日が慰靈祭、その間の例会から数えると3回しかありません。2月18日、2月25日、3月3日、3回の例会の終了後において、45周年の実行委員会のミーティングとして開かせて頂きますので各委員会の委員長さんは是非ご予定をお願いします。

先週1月29日ですが、ロータリー館運営委員会という地区の委員会がございました。来年の万博に向けてロータリー館の起工式が来週の2月9日に挙行されます。それに伴って準備を今されています。これから来年の万博に向けて、各クラブとしても万博のロータリー館で例会を2回開催する、してほしいことやいろいろな事が来ております。こんなことをこれから理事会も含めてつめていきたいと思います。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 76名（内出席免除者 14名）出席者58名	
出席対象者 47／62名	出席率 75.81%
欠席者18名(病欠者0名)	前々回修正出席率 95.08%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

一色R C 小池孝様

竹中様には先週一色R C 例会で大変素晴らしい卓話をさせていただき、感謝しております。有難うございました。

長田 徳雄君

新入会員の那波宏志様の紹介をさせていただきます。よろしく。

木村 克美君

新孝様にお世話になりました。

植松 敏樹君

本日の卓話の講師2760地区青少年交換委員 鈴木吉男さんを歓迎します。

平岩統一郎君

碧南「UFJ懇話会」総会が無事終了しました。

竹中 義雄君

1/29（木）一色ロータリークラブ様にて拙い卓話をさせて頂きました。
大変勉強になり、感謝しています。

小笠原良治君

金原米穀のおばあちゃんと板東英二様にお世話になり、こまっています。

杉浦 昌裕君

森田英治先生にお世話になっています。ありがとうございます。

山下 照君

いい事がありました。

那波 宏志君

本日入会致しますので、よろしくお願ひいたします。

早退7件 合計27,000円

〈親睦活動委員会〉

2月会員誕生日

2月4日 杉浦昌裕君 9日 石川八郎右衛門君 16日 平岩辰之君 18日 植松敏樹君
25日 杉浦昇一君 26日 伊藤正幸君

奥様誕生日

2月1日 中根佑治君の奥様 澄恵 様 15日 新美惣英君の奥様 直美 様
20日 石橋嘉彦君の奥様 里美 様 21日 栗津良一君の奥様 千恵子様

結婚記念日

11日 平岩統一郎君・和 恵様 26年 11日 新美宗和君・雅代様 24年
28日 長田 銑司君・美代子様 41年

卓 話

「世界理解月間について」

地区青少年交換委員会 委員 鈴木吉男氏

1. 青少年交換の歴史

青少年交換は1920年代ヨーロッパにおいて初めて行われました。1939年大規模な交換が米カリフォルニアとラテンアメリカで行われた。戦後米国東部に広がり全世界で行われるようになり、1974年R I理事会において正式なプログラムとして認められました。現在では80カ国 6000人～7000人の青少年交換学生が毎年交換されるようになってきました。

1991年からR I世界大会のプレコンベンションとしてオープンセレモニーの前に2日間青少年交換会議行われ、600名～700名の青少年交換委員の皆さんのが集まり、親交を深めています。

現在日本の交換は30カ国ほどの国へ約300人位の若者たちがこのプログラムに参加しています。

2. 青少年交換計画の趣旨と概要

1974年のR I規定審議会において決議された国際青少年交換のプログラムは、数ある国際奉仕活動のうちでも最も価値ある奉仕活動の一つであります。

地区ガバナーの指導の下に地区委員会がすすめるものであります、クラブから推薦された候補者を地区委員会で選考し、選ばれた学生達に留学の心得を指導し、交換先の地区委員会の指導のもとに一定期間、外国のロータリアンの家庭及び、ロータリーが推薦する家庭でホストされ、その家族の一員として過し、現地の学校に通学してありのままの生活体験をし、その国の風俗・習慣等を見聞きしながら、国際理解と国際親善を推進するものであります。

善意と国際理解のロータリー使節であります (Rotary Ambassador of Goodwill and International Understanding)。しかしこの奉仕活動には多くの困難と煩わしさを伴うことがあります、それ以上に本人は勿論、地域社会の為にも又クラブにとっても計り知れない大きな成果を挙げることが出来る奉仕活動です。

3. 第2760地区青少年交換の沿革と現状

旧260地区から276地区そして現2760地区へとかわりましたが、当地区では1974年R Iで青少年交換プログラムが採択される前から、クラブ対クラブ、Person to Personの形で交換が行われていました。

旧260地区 1968年から2987年までの間に、アメリカ、カナダ、オーストラリアの英語圏三カ国との間で交換され、一ヵ年交換は、派遣189名、受入203名、夏期の短期交換として、派遣103名、受入45名が参加しています。旧260地区分割以後、2760地区では、1988年から2003年までの間に派遣240名、受入220名となっています。

英語圏以外との交換は1997年からブラジル、フィンランド、1998年からは台湾、タイ、1999年からはフランス、2000年からはドイツ・ノルウェー、ベネズエラ、そして2001年から韓国とも始まりました。

このように年毎に交換国や学生が多くなっていくことは、世界平和と国際親善の輪が益々大きくなっていくことになり、このプログラムの趣旨が確実に推進され、達成されているといえます。

なお、当地区では、現在短期交換は行われておりません。



次回例会案内／2月25日（水）「国際協力」

(財)オイスカ中部日本研修センター 参事 村松 明氏